



▽ Literature Guidebook 10th Anniversary



大阪市立大学文学部の学生スタッフによって作られる文学部案内冊子は、今年で10周年を迎えました。

編集後記

▼完成!



2017

▼編集作業にはパソコンを使います。分からないところは上回生に尋ねながら、各々のページを形にしています。



▼掲載内容が決まったら、先生方や学生の皆さんにインタビューを行います。



▼スタッフは毎年文学部の学生から募集しています。今年は28人でこの冊子を作りました!



読者アンケート

このたびは、文学部案内冊子をお読みいただきありがとうございます。来年度の冊子作成の参考にするため、アンケートを実施しております。下記のQRコードまたはURLからご回答をお願いいたします。みなさんの率直な感想をお待ちしております!



URL: <http://ur0.link/EBja>

▲スタッフから選ばれた「スタイリッシュ」な3人やカメラに詳しい先輩の協力を得て、表紙の撮影を行いました。



▲理念から掲載内容まで、1回生による新しい発想や上回生の経験を活かし、みんなで話し合って案を出していきます。



リーダーのひとこと

みなさん、大阪市立大学文学部案内冊子『L(エル)』をお読みいただき、ありがとうございます。今年のテーマは「音楽雑誌や映画雑誌のような、スタイリッシュな冊子」です。市大文学部の魅力を伝えたいという意気込みのもと、学生スタッフ28人が主体となって、企画・取材・編集を行いました。この冊子は、学部生・先生方・卒業生など、本当に多くの方々の協力のおかげで、形にすることができました。皆さんの想いが詰まったこの冊子を、すみずみまで楽しんでいただければ幸いです。



文学部案内『L』編集長 社会学コース3回生 阿部 杏香



HP: <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/education/>
twitter: @oculit_spel

大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構

「大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構」(通称「支援機構」)は、文学部50周年記念事業の一環として2003年2月10日に発足しました。会員は文学部・文学研究科のすべての学部生・院生・教員です。企画ごとに集まった学生スタッフが、教員と協働して授業の枠にとどまらない「学び」を創造する、ユニークな組織です。学生の主体的な企画運営や活動を通して、学生のさらなる成長と学部の発展をめざしています。

研究支援

文学部生の知的環境や主体的な学びの活動を支援しています。学生主催の研究会や勉強会に対して助成する自主ゼミ支援事業や、「卒業論文セミナー」、優秀卒論・修論の審査や表彰を行っています。



編集

支援機構の活動報告や優秀卒論・修論などを掲載する機関誌『フォーラム人文学』や、市大文学部を学生目線で紹介する『文学部案内冊子』の企画・編集を行っています。

教育支援

毎年、入学したばかりの1回生が同回生や先輩との交流を深める「新入生歓迎キャンプ」を実施しています。また、1回生が所属コースを決める手助けとなる「先輩学生によるコースガイダンス」など文学部・文学研究科の教育環境をさらに向上させる活動を行っています。



広報

市大を目指す人や興味を持っている人を対象にトーク企画やキャンパスツアーを行なう「オープンキャンパス学生企画」や、市大文学部の先生方による模擬授業で実際の学びを体感することができる「市大授業」を開催しています。

進路支援

就職活動や教員採用試験に挑戦する学生に向けて、就活や面接など様々なテーマのセミナーを開講しています。



就活準備セミナー▶ 文学部1・2回生のための 就活準備ガイダンス 日時: 7月15日(金) 13:00~14:00 場所: 8号館B35教室

interview

参加した企画: オープンキャンパス、新入生歓迎キャンプ、春の市大授業、秋の市大授業

○企画の中に心がけていることは何ですか?
支援機構の企画では上回生の意見がベースとは限らないので、できるだけ周りの人の話を聞くことは大切だと思っています。また企画を「何となく」進めるのではなく、理由や目的を持って取り組むことも大事にしています。

○企画の楽しさ・やりがいについて聞かせてください。
みんなと協力し助け合うことで一人ではできない大きなことができるのはやりがいのあることだと思います。そのなかで壁にぶつかるところもありますが、その分乗り越えたときの達成感も大きいです。

○支援機構の活動に参加しようと思ったきっかけは何ですか?
大学に入って新しく熱中できるものがあればと思っていました。オープンキャンパスの企画スタッフ説明会に行き、先輩が優しく、楽しそうだったので参加しようと思いました。高校生のとき「秋の市大授業」に参加し、スタッフに憧れを抱いたのもきっかけの一つです。

○企画を通して得たものはありますか?
パソコンを使うスキルや、ディスカッションを行ない何かを決定する力、期間内にタスクをこなすスケジューリングの力も身につきました。また企画では色々な人と話す機会が多く、自分では気づけなかったことに気づくこともできました。



社会学コース 3回生 たにぐち ゆきこ 谷口 優希子 さん